

自治会アンケート調査結果 報 告

流山市コミュニティ課

令和3年3月

調査の実施概要

1 目的

市の地域コミュニティの中心的な役割を担う自治会から、自治会未加入者問題をはじめ、組織や運営などの様々な課題について声を聴く機会が増加しています。

また、今回新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い自治会活動も活動自粛等を余儀なくされているかと思います。

今回のアンケートにつきましてはコロナ禍における自治会活動の現状や ICT（情報通信技術）の活用状況を把握する共に、市内自治会活動の情報共有の 1 つとしてこのアンケートを活用していただきたいと思い、実施いたしました。

御協力いただいた自治会長の皆様にはこの場を借りて御礼申し上げます。

2 実施方法

郵送によるアンケート調査を実施。

3 期間

令和 2 年 1 2 月 1 1 日～令和 3 年 2 月末

4 対象

流山市内のすべての自治会（令和 2 年度 1 2 月時点 1 8 0 自治会）の会長

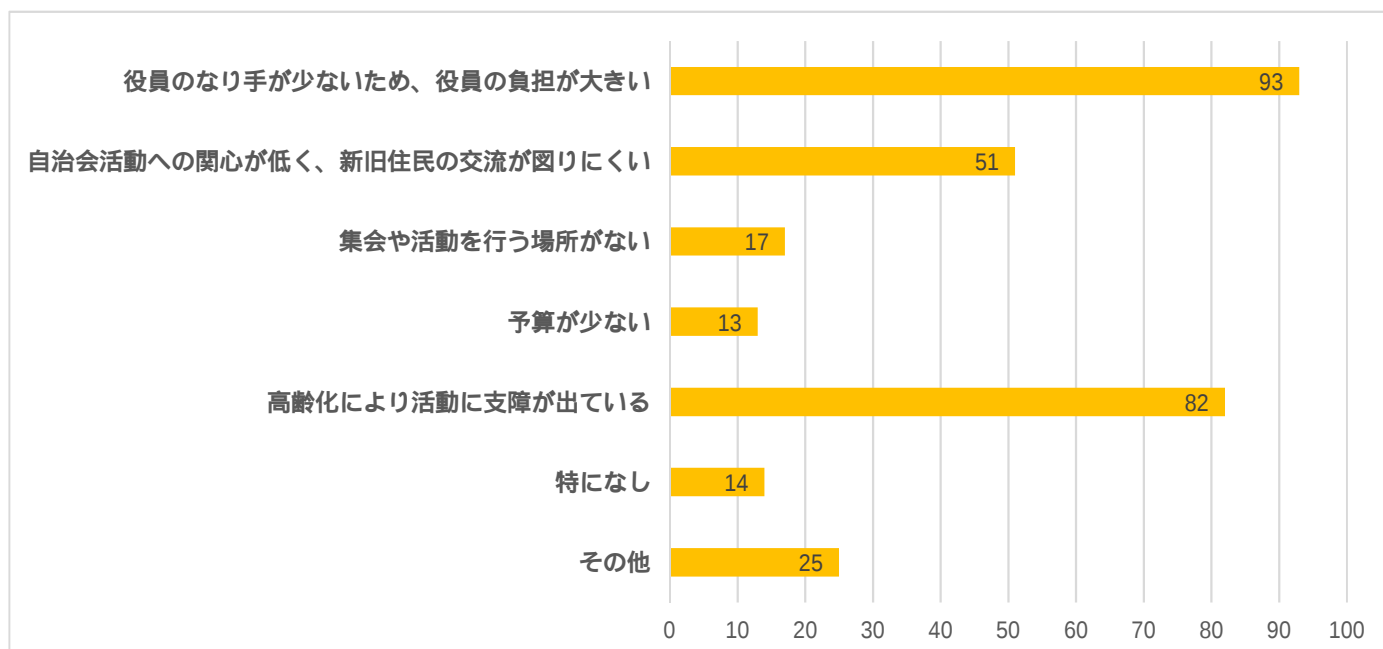
5 回収結果

送付数	1 8 0 通
回答数	1 3 6 通
回答率	7 6 %

1 自治会の活動や運営、補助金についてお聞きします。

問 1 自治会の活動や運営面での課題についてどのようなものがありますか。

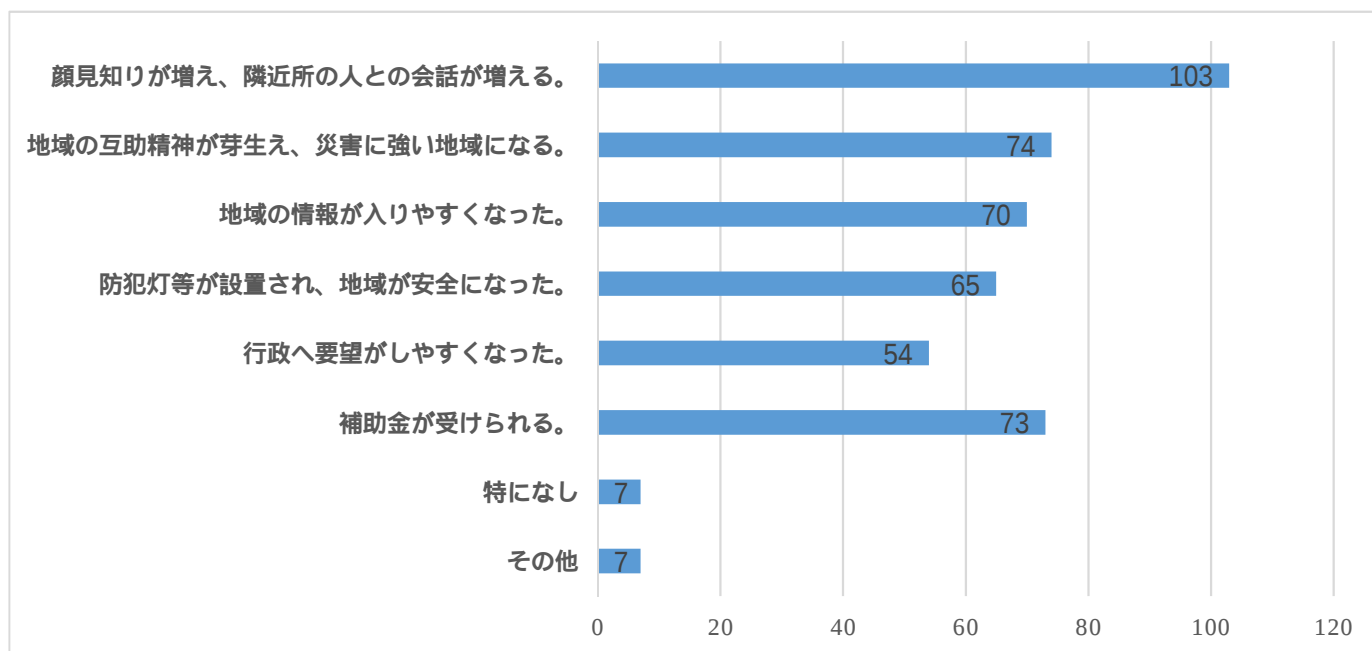
(複数回答可)(回答総数 n=295)



その他、「入会後に退会する世帯が目立つ」、「自治会加入のメリットがない。自治会活動のみでメリットを打ち出すのは容易ではない」、「自治会の仕事量が多い」、「どのようなことをすれば活動が活性化するかわからない」、「役員は1年ごとの輪番制にあるが高齢化のため順番がはやくなっている」、「後継者獲得に苦戦、選抜システムを構築中」、「若い会員に役員となってもらいたいが、現役の為平日活動に対応できない」、「人材不足(老人、女性ばかり)」、「毎年自治会役員が交代し、役員経験者のサポートで運営している状況にある」、「今後、高齢化が進むと、役員のなり手が少なくなり、役員の負担が大きくなる。また、脱退による影響は避けられない」、「高齢化等で自治会活動を最小限度に縮退したい」、「コロナ禍における自治会活動の在り方」、「自治会費を支払っているのに活動に関心が低いわけではないが、意見を引き出すタイミングを取りにくい」、「若い世代が増えているが、その世代向けの活動が少ない。コロナ禍での運営は手探り状態。どの様に活動すべきか悩む」、「防犯カメラを設置したいが意見がまとまらない」、「防犯灯設置と地域の安全性は限定的なものに過ぎない」

問2 自治会活動のメリットについてどのようなものがありますか。

(複数回答可)(回答総数 n = 453)



その他、「昔からの自治会の為、近隣の繋がりでの延長戦で自治会が構成されている」、「地域の祭礼や行事を共に行ったという達成感の共有はとても意義深いと思う」、「ゴミゼロ運動、年2回の防災訓練の実施、ビンゴ大会開催など、居住者間のコミュニケーションが得られる」、「新型コロナウイルス対応でエントランスホールに滅菌ジェルを置いているが、この運用は自治会でないとできない」

問8 既存のもの以外に求める補助等がありますか。

- ◆ 自治会事業、イベント（納涼祭等）開催に関するコミュニティ補助金。
- ◆ 自治会等交付金の増額。
- ◆ パソコン及びプリンタ本体、インク、用紙、コピー代等補助金。
- ◆ 通信交通費（電話代、インターネット代、切手代）。
- ◆ 自治会館内でインターネットが使える環境を整え、パワーポイントを使つての説明会、ZOOMでの会議など、一式の機器とソフトを揃えるための補助。
- ◆ 自治会館維持管理費は限りなく実費にしてほしい。例えば公共料金は全額など。
- ◆ 防犯カメラ維持管理費補助制度。
- ◆ 防犯カメラの一定期間貸出制度。
- ◆ 防犯カメラの補助金増加（上限40万）。
- ◆ 公園、緑地の管理料増加。
- ◆ 側溝掃除の定期化 公園の維持（花壇等）。
- ◆ 公園の管理について、高齢化が進んでいるので、草刈機が使用出来る様に規約を変更し、講習代、保険料の補助が受けられる様にしたい。
- ◆ 公園の出入口の坂が急で高齢者等の歩行に危険な為、両端に手すりをつけていただきたい。
- ◆ 災害用の携帯無線機配布。
- ◆ 防災倉庫の設置。
- ◆ 旧ポンプ室に防災資材棚を新設したい。

- ◆ 電柱避難先案内掲示板設置補助金。
- ◆ 消防水利をコンクリート形式にしていきたい。
- ◆ 道路ミラー設置。
- ◆ 庚申塔の管理補助金。
- ◆ 非接触型体温計の貸与。
- ◆ 独居老人の見守り事業。
- ◆ ゴミ箱の補助金。
- ◆ ポイ捨てごみの防止事業。

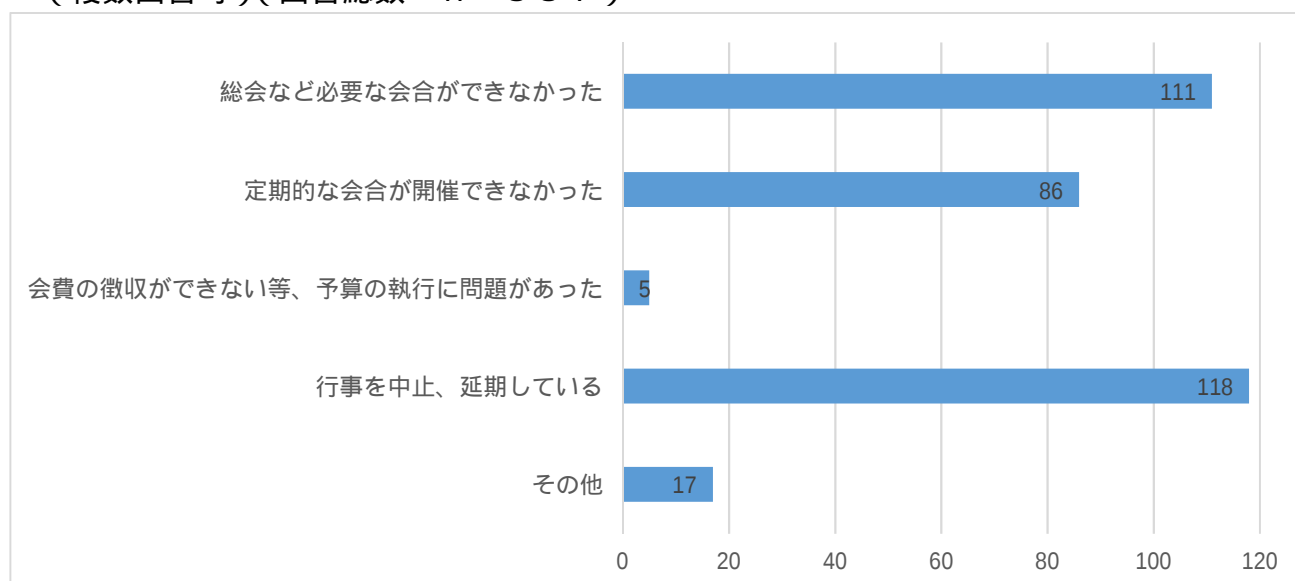
2 新型コロナウイルス感染拡大の影響及び対応についてお聞きします。

目的

この度の新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、自治会活動においても大きな影響を受けているところと存じますが、各自治会における影響や感染症対策、取組状況等を確認し、新しい生活様式に合わせた自治会活動の在り方の参考とするためお聞きしました。

問 9 新型コロナウイルス感染症により、どのような影響がありましたか。

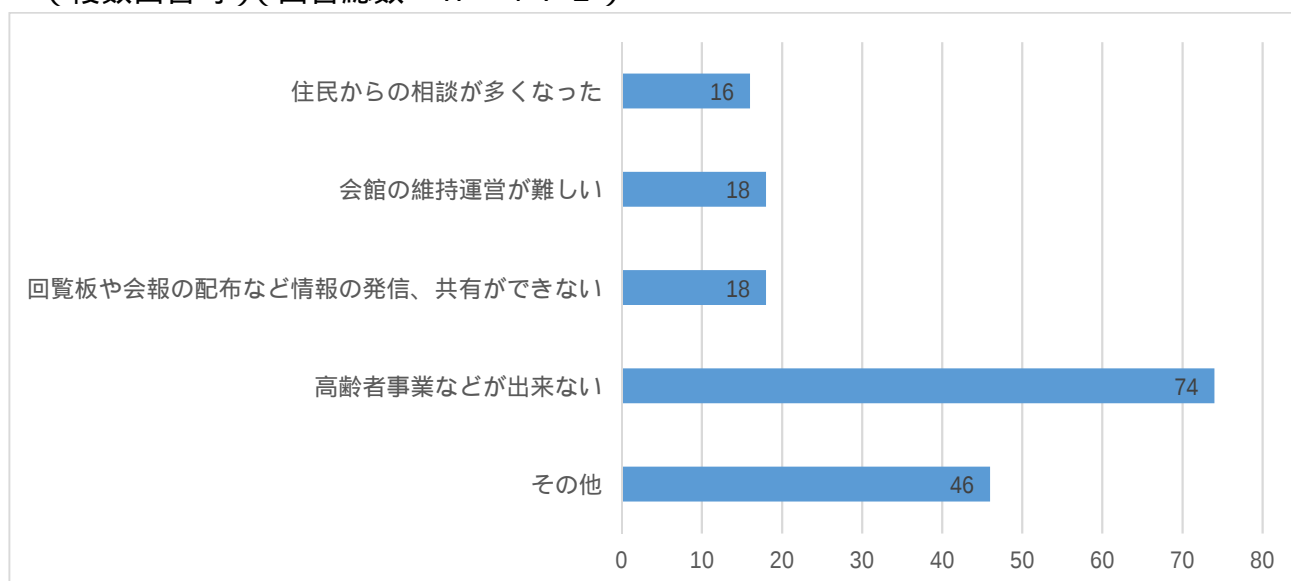
(複数回答可)(回答総数 n = 337)



その他、「会合の参加人数を制限」、「月1の会合のスペースに工夫が必要」、「回覧物はほとんどを全戸投函へ変更した。(自治会活動報告、市からの回覧物等)」、「回覧文書の作成や電話による連絡が多くなった」、「行事が中止になったため新しい役員、班長間のコミュニティが例年になく希薄になった」、「行事の中止により住民間のふれあいが減少」、「防犯パトロール、老人会の中止」、「社会福祉活動がないため、高齢者が外出する機会が少ない」、「自治会館内で中国式体操や食事会が出来なかった」、「自衛消防訓練の開催が消防法で定められているため管理組合役員、自治会役員に参加者を限定して開催した」

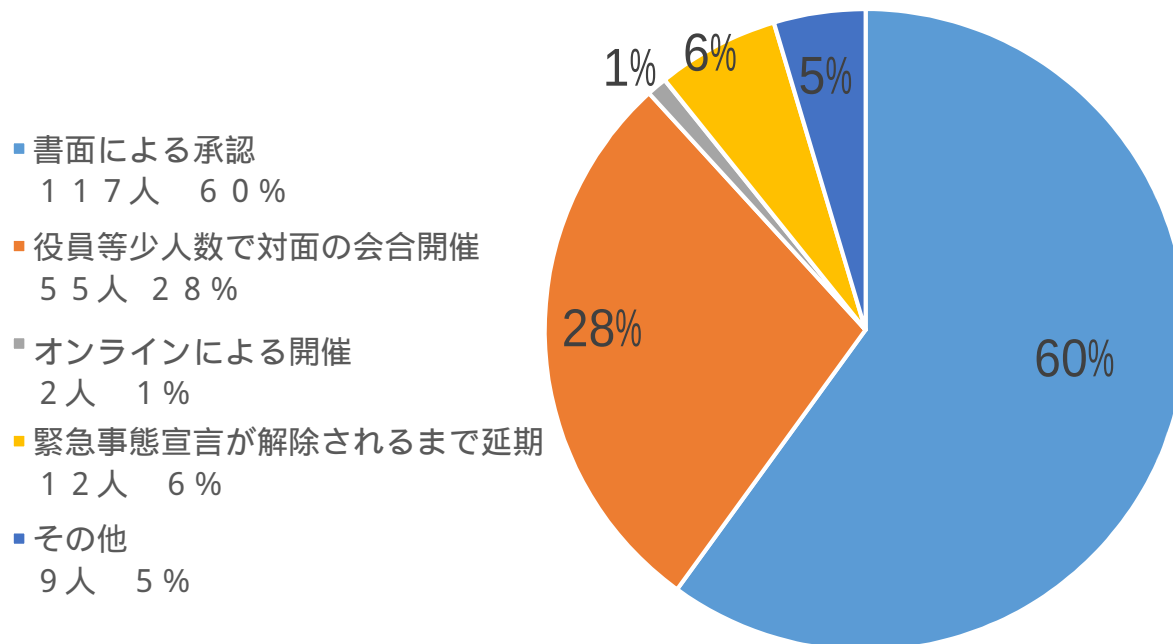
問 1 0 新型コロナウイルス感染症の影響で具体的にどのような点に苦慮していますか。

(複数回答可)(回答総数 n = 172)



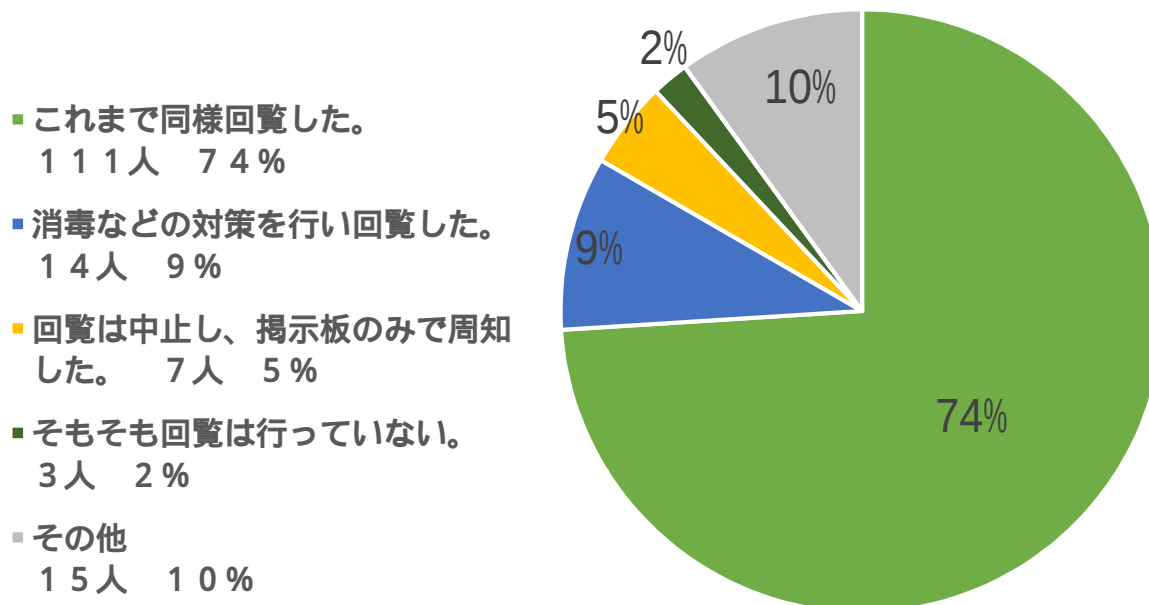
その他、「自治会加入活動が緊急事態中でできないため、先がわからない」、「定例会がなかなかできず、一部の役員に負担がかかっている」、「集会の時間を短くしている」、「対面での活動は必要最低限にしているため、コミュニケーションや情報共有が深くできないもどかしさはある」、「会員の健康が1番なので、行事・会議が行えない。必要最低限必要最低限の役員会なので経費支出等の説明が後手に回ってしまう」、「各イベントの中止による自治会費の使い方」、「住民との意見交換が難しくなっている」、「体温測定器を自治会で購入し会合の都度測定している」、「役員会の参加人数を限定している」、「班長に伝えるべき内容が最低限度しか伝えられなかった」、「インターネットを使用して住民への情報配信する仕組みがない」、「掲示板による通達がほとんどですが掲示板を見ない方が多い」、「インターネット上の電子掲示板が欲しい」、「行事の縮小、延期中止の判断や計画の見直しなど」、「要支援者へのアプローチ(要支援事項のヒアリング)が行きにくい」、「行事が行えず若い会員との交流ができない」、「新型コロナウイルス感染症者が出た場合の住民の対応や対策を検討中」、「滅菌ジェルをエントランスホールエントランスホールに置き、その更新を自治会で行い、管理組合にエレベーターの操作ボタンの滅菌処理を申し入れ、対応していただいている」

問 1 1 対面形式による総会が開催できない際にどのように決定や承認を行いましたか。



その他、「役員間でのメールによる連絡・協議の実施」「数回に分けて開催」、「必要に応じて会計係と相談して対応した」

問 1 2 回覧板（紙媒体）の回覧はどのように対応しましたか。



その他、「回数を絞ることができるだけ掲示板で対応した」、「情報共有の目的や対面、イベント活動をカバーすべく回覧の頻度や内容は充実させた」、「今まで以上に細かく情報を発信してコミュニケーションを取っている」、「必要最小限度の回覧のみ実施、他は自治会館掲示とした回覧板の使用をやめ、都度廃棄のビニール袋に入れ回覧」、「対面しない投函を勧めた」、「必要に応じて住民にどうしても重要な知らせはメールで頂き、各戸に配布した」、「回覧中止、掲示板と全戸への投函（重要な物のみ）とした」、「HPを活用している」

《実施した事業》

- ◆ コロナ感染症拡大が小康状態のタイミングを見計らって、高齢者向けの映画会や落語会などを計画したが、実施できたのは計画の3割程度であった。
- ◆ 子供達を中心に屋外（自治会農園）に集め、時間を縮小して収穫祭を実施。高齢者が多くなり活動自体が縮小傾向である。
- ◆ 民生委員等による 高齢者見守り、誕生日に「ショートケーキ」を届けている。特にコロナ禍の中なので、時間をかけてストレス等がないように話を聞いている。
- ◆ コロナ禍で行事・イベントが中止になり、時間的に余裕が出来た為、自治会館内の文書等の整理整頓や次年度の為の下準備或いは自治会活動自体の一部見直しを行った。例えば文書等を整理する為に文書保存規程を作成、緑地協定更新の為に意見の収集と対応、生垣の植栽について管理の徹底を図る、自治会館のペンキ塗装の為に要望書提出、災害時に避難所へ行かずに在宅避難を基本にし、運営部員4名の派遣を中止する動きなど。
- ◆ 子供食堂からの要請で自治会館内の駐車場においてフードパントリー実施。（駐車場の貸与のみの協力）
- ◆ 花火大会や模擬店を出店する秋まつり等を中止したので住民同士、特に子供達との交流が出来なかったので、初めての試みで「子ども防犯パトロール」を大人が誘導し密にならないように実施した。
- ◆ 活動を行わなかった期間の会費を減額した。会員の気持ちや町の活性化を目指し、クリスマスにちなんでイルミネーションを取り入れたイベントを行った。各イベントが中止の中、密を避けるため外でクリスマスツリーの飾り付けのイベントを実施。2週間ほど自治会館前で点灯させた。
- ◆ 会員会費の用途について、事業費と倉庫、掲示板等に使用した。
- ◆ 集金は消毒、マスク着用の徹底の上、密をさけ実施した。
- ◆ 回覧を回すときにコロナウイルス感染症の注意文を添えている。
- ◆ 温度測定器手配中。
- ◆ 昨年5月全会員にマスク20枚配布、ゴミ袋45ℓ100枚配布 災害対応の備蓄倉庫設置と簡易トイレ備蓄。
- ◆ 災害積立金の拡大を検討。従来は防災（地震、雨など）防火が主要であったが、来年度からは「感染症」も加えて対応する様にする。（R3年度総会決議にする）（マスクの配布、消毒液の配布、ビニール手袋など。
- ◆ 樹木の刈込等をシルバー人材センターに依頼した（ゴミゼロ運動中止で多人数による樹木剪定や雑草駆除ができず自治会役員だけでは不可能だった）。
- ◆ ゴミステーションのゴミ出しの情報把握と不回収ゴミの管理に注意。
- ◆ 防災訓練を在宅で実施。
- ◆ 役員、班長のみで訓練を実施。
- ◆ 月に1度の定例会（役員会及班長会）の実施が対面で、できずEメールにて実施した。パソコンを所有していない役員・班長には会長より印刷（Eメール内容のもの）投函して情報共有した。
- ◆ 自治会だより（責任者会長）を昨年4月から月一回発行した。

《求める支援や要望等》

自治会運営

- ◆ 定例会や総会の開催基準がなく、書面決議や延期にする判断が会長の一存になっているため難しい。
- ◆ 市からの回覧物が多いので、優先度（回覧、投函必須、掲示のみ）をつけて頂きたい。リサイクル活動に必要な袋（麻袋？）は定期的に新品へ交換して頂けると衛生管理上助かる。
- ◆ 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点だけでなく、防犯、防災、その他市民に必要な情報、気を付けるべき守るべき行動の情報などがあれば回覧として情報共有したいので今後とも提供いただきたい。
- ◆ 自治会館でクラスターが発生した場合、会館の消毒の実施やどこに頼めばいいのか、費用などわからない。
- ◆ 感染症が拡大していれば事業は出来ない、死者が出たら誰が責任を取るのか。拡大すればするほど3密を避けるため自宅で出来る会議システムがあればよいと思う。残念ながらそれを構築する人や指導する人がいない、講習会を開いて指導して欲しい。

感染対策

- ◆ 感染予防対策についての的確な指示がなされていない。判断を任せられている。
- ◆ 自治会レベルでの行動や、又は要望することは結局人と人が動くという状況が必然となり、危険度が増すこととなる。市がしっかりと自治会に限らず、状況、案内等を徹底していただくことが大事であると考えます。
- ◆ 自治会館をもたず福祉会館を利用させて頂いている。昨年4～5月に会館が閉鎖され定例会を開くことができなかった。安易に公共の会館を閉鎖することのないようお願いしたい。
- ◆ 昨年の緊急事態宣言時に学校の休校と在宅ワークが増えるにつれ、在宅で仕事をしている方々が外で遊ぶ子供達がうるさいとの苦情が多く苦慮した。特にボールやスケボーの音の苦情が多かったので、校庭等を開放して欲しかった。自治会としては注意喚起の回覧板や直接のお願いにて対応。
- ◆ 当自治会（マンション）では感染者が発生した時の対応策がない。また感染予防策についても同様（個人任せ）居住者に通知する為の感染予防策、感染者が発生した時の対応策に関するテンプレートを行政で準備して欲しい。
- ◆ 地域の具体的な感染者の情報提供。
- ◆ 定期的なPCR検査、無償実施。
- ◆ 自治会館のコロナ感染症拡大予防対策のための期間限定補助。
- ◆ 単身独居家庭等の見守りなどの支援。
- ◆ コロナ情報は市内全域を対象として公表しているが地域（北部・東部・南部）毎に防災無線等を利用し、情報提供を願いたい。
- ◆ 流山市は新型コロナウイルス感染症のより詳細な情報が必要。

ICT

- ◆ 市役所側のICT化が極端に遅れている。紙と電話によるコミュニケーションをメール、インターネットに変えてほしい。
- ◆ 市役所 自治会長だけでなく、市役所 自治会長 自治会・市役所 住民のように情報の流れが必要。自治会から住民全員にメールアドレスをもらうことは恐らくできない。

住民票登録の際にメールアドレスも申告してもらうようなことが将来必要となる。これは防災・防犯にも役立つはず。

- ◆ 市や小中学校の回覧物は電子化を併せて行い、回覧しなくてもその内容をタブレットなど用いて閲覧できるようにしてほしい。
- ◆ 各自治会にタブレット端末の配布などによる、市との連絡、補助金の申請他の自治会や福祉協議会まちづくり協議会ともリモートでのコミュニケーション。
- ◆ 自治会館のWi-Fi整備。

3時代と共に、自治会の情報共有や意思決定の方法などの形態も変化してき

ていることから、各自治会活動の現状や新たな取組についてお聞きします。

目的

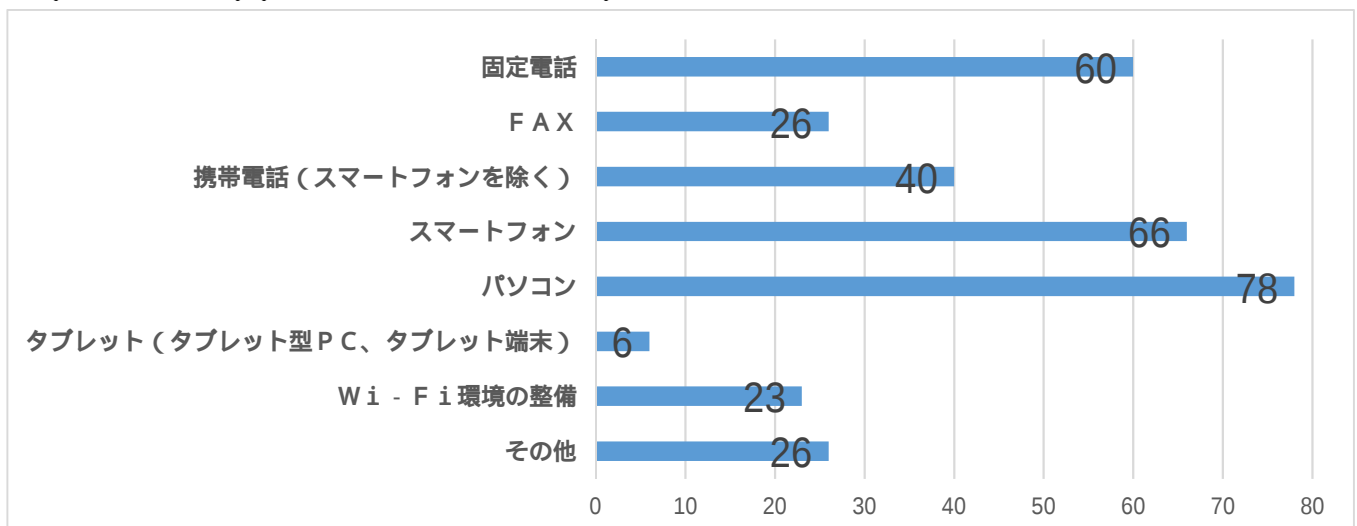
近年のICT（情報通信技術）の革新は、目まぐるしく進展しており、情報の即時性や鮮度が非常に重要であることが認識され、ICTの必要性を感じる現状となっております。

市としましては、昨今の流れを鑑み、自治会活動においてもICTの活用を推進していきたいと考えております。

つきましては、各自治会におけるICT機器の活用状況及びICT活用に対する意識・ニーズ等を把握するためアンケートを実施しました。

問14 自治会として利用しているICT機器についてお聞きします。

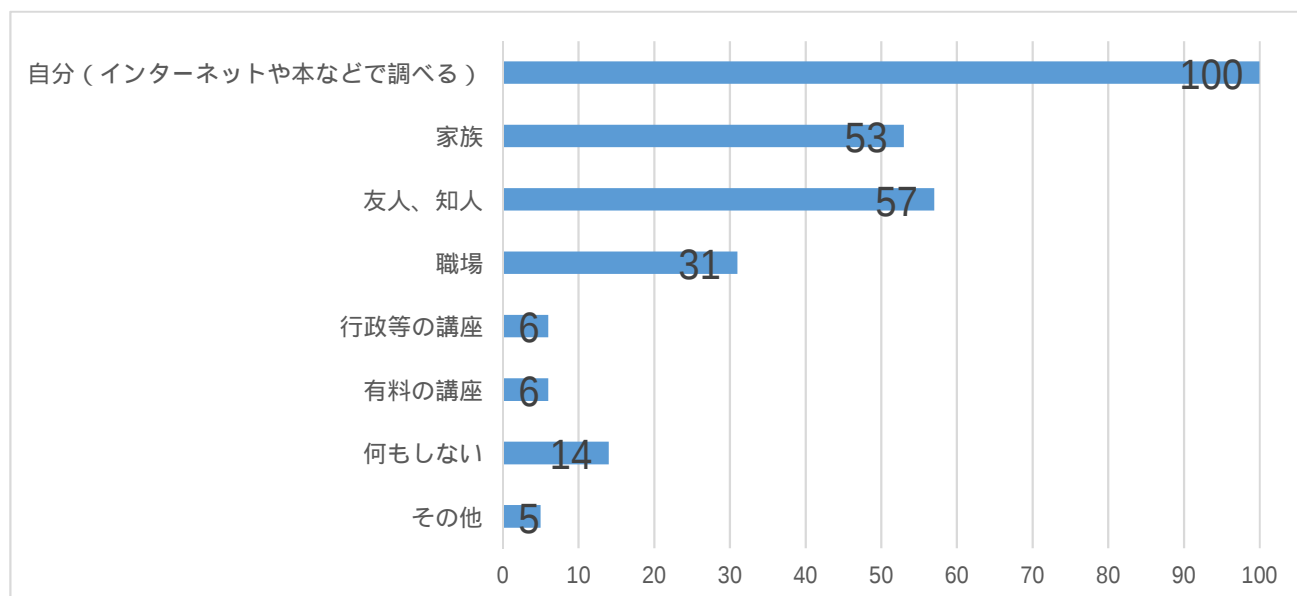
（複数回答可）（回答総数 n = 325）



その他「集会室がケーブルTV会社と契約していない（できない）為インターネット等を利用できない状況」、「自治会が所有している機器は無い、個人間で私物を利用する」、「自治会間の連絡、情報交換はWi-Fiを利用している」、「スマートフォン、パソコンは役員が利用している機器で、自治会全体としては電話のみ。固定電話が中心だが、携帯電話、スマートフォンを使っている会員もいる」、「電話及び案内文書にて対応」

問 1 5 スマートフォンやパソコンなどのＩＣＴ機器の利用に必要な知識をどのような手段で習得していますか。または習得しようと考えますか。

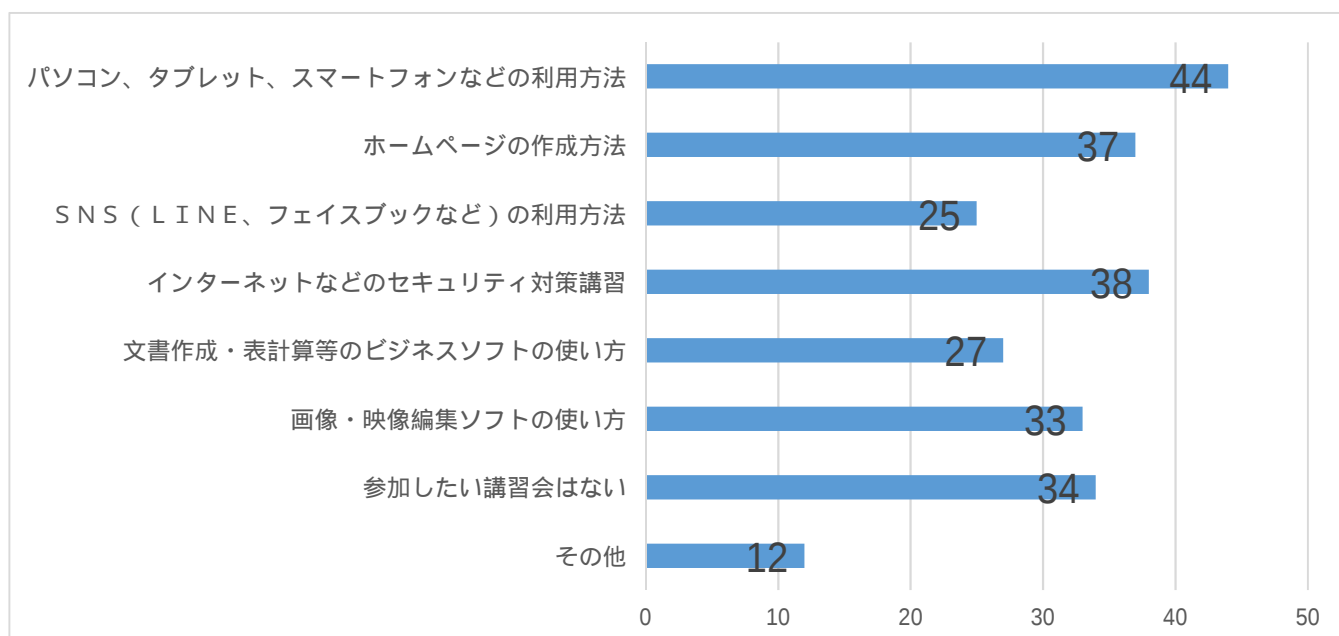
(複数回答可)(回答総数 n = 272)



その他、「流山エルズ又は文化会館でのボランティアのＰＣ講座など」、「今年度会長個人としてはそれなりのスキルは取得しているが毎年続くか疑問」

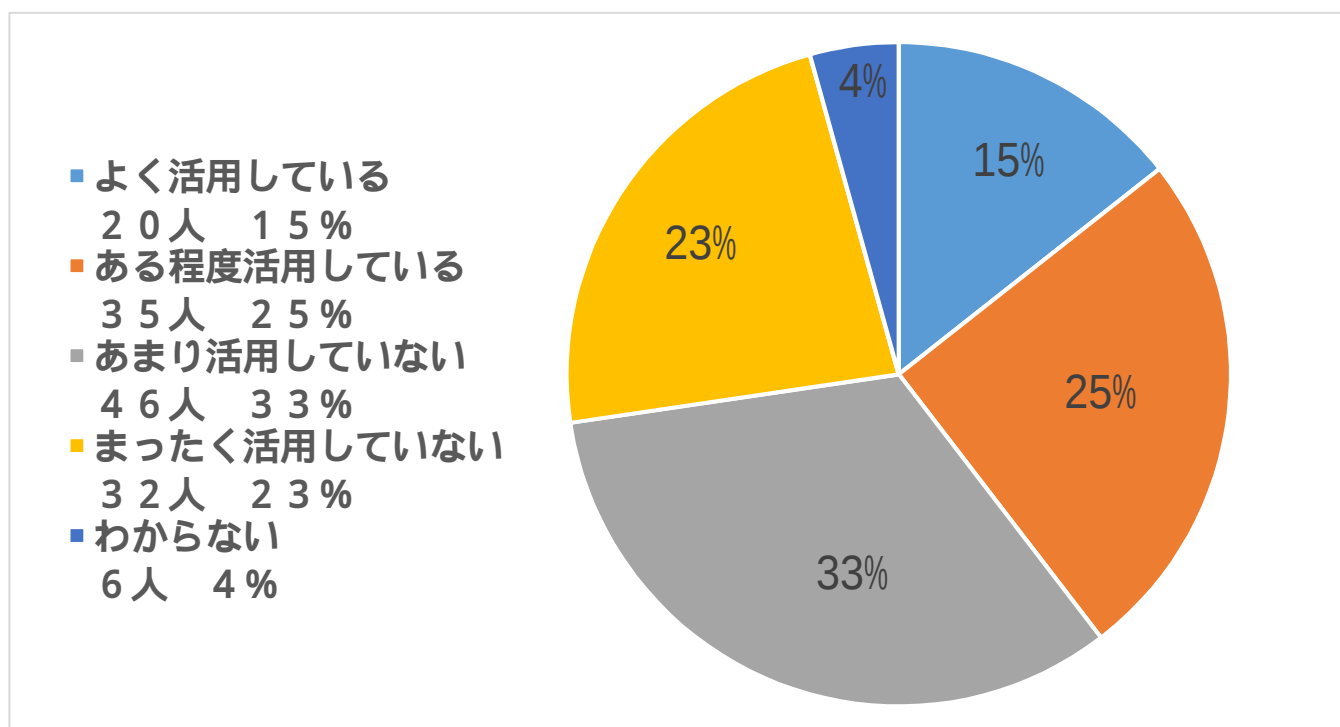
問 1 6 次に挙げるような講習会が開催された際に参加してみたいですか。

(複数回答可)(回答総数 n = 250)



その他、「機器等の充実より先に設置環境の安全性確保を指導してほしい」、「自治会員(役員含む)の方々に有用と思える講習会は定期的にアナウンスかサイトの紹介として頂けると参加希望者がいるかもしれません」、「ＣＡＤの使い方」、「無料または格安料金の講習会」、「自治会館で受講できるなら参加者はいます」、「サークル同好会、パソコンクラブによる教室開催、現在コロナで休講中」、「役員の高齢化等で技術や知識が引き継がれないと考えられる」、「すでにクラウドシステムやオンライン会議システム、動画配信、SNSでの広報、ＨＰでの議事録公開等行っているの、他自治会にこの取り組みを広く周知させたい」

問１７ 自治会活動において、どのくらいＩＣＴ（メールやアプリなど）が活用されていると思いますか。

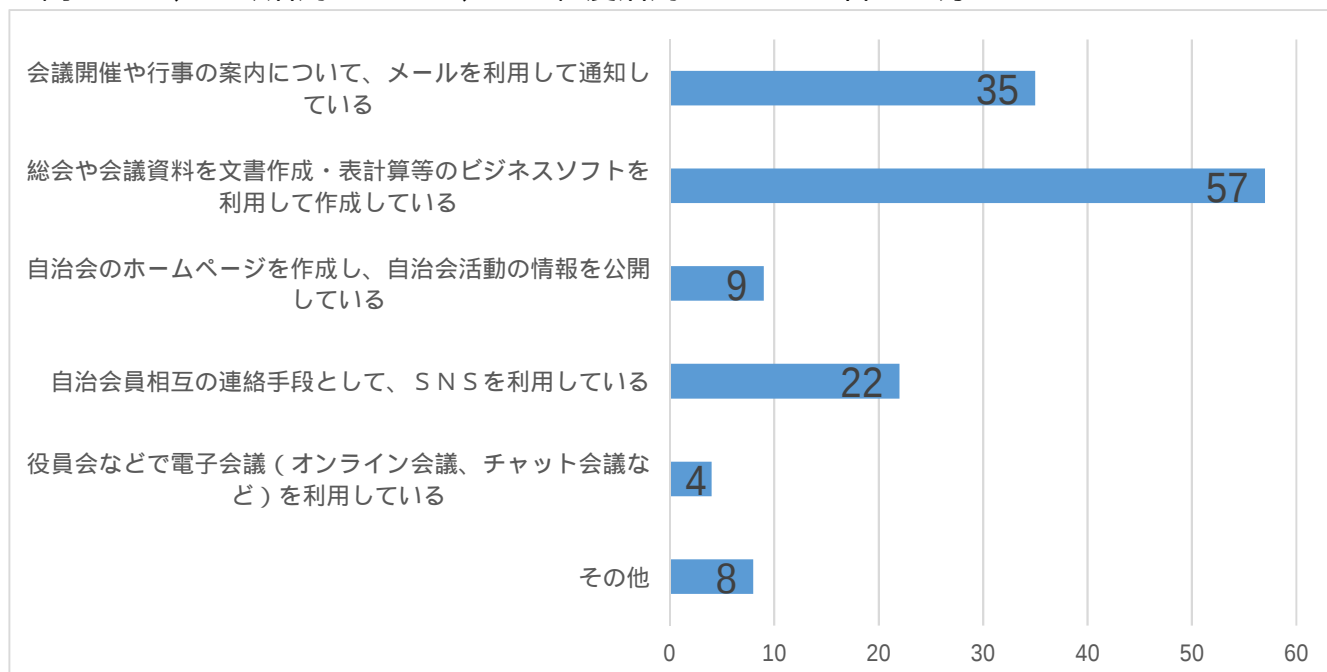


その他、「一斉メール配信がブロックされる設定の方がいらっしゃる」

問１８ 自治会活動において、ＩＣＴの活用状況についてお聞きします。

（複数回答可）（回答総数 n = 135）

問１７で、よく活用している、ある程度活用していると答えた方

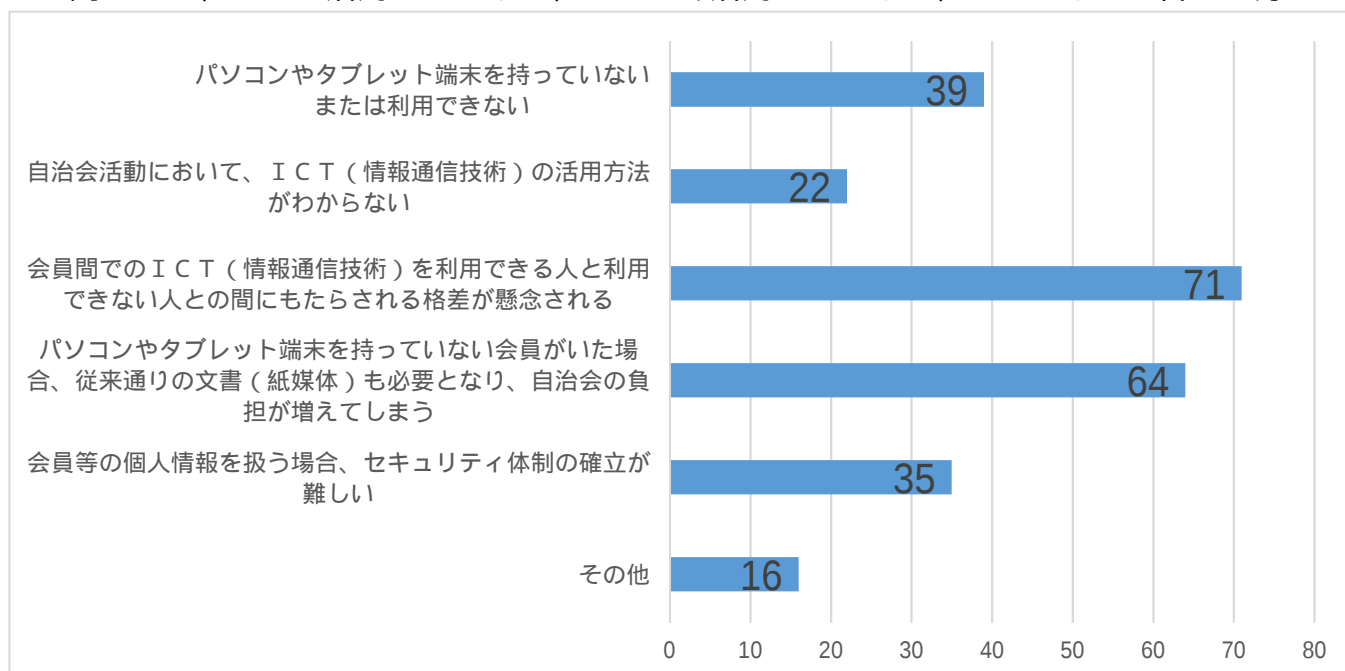


その他、「文書による通知連絡が主」、「役員間でＳＬＡＣＫを使用」、「役員回覧にて知らせている」、「この利用状況は自治会役員間の状況で自治会全体ではない」、「役員の連絡手段として」、「個人的に活用しているレベルである、自治会全体は活用できてない」、「自治会館に光インターネット回線及びWi-Fiルーターの設置、総会、班長会、役員会でのプロジェクターの利用」

問 1 9 自治会活動において、ＩＣＴを活用していない理由についてお聞きします。

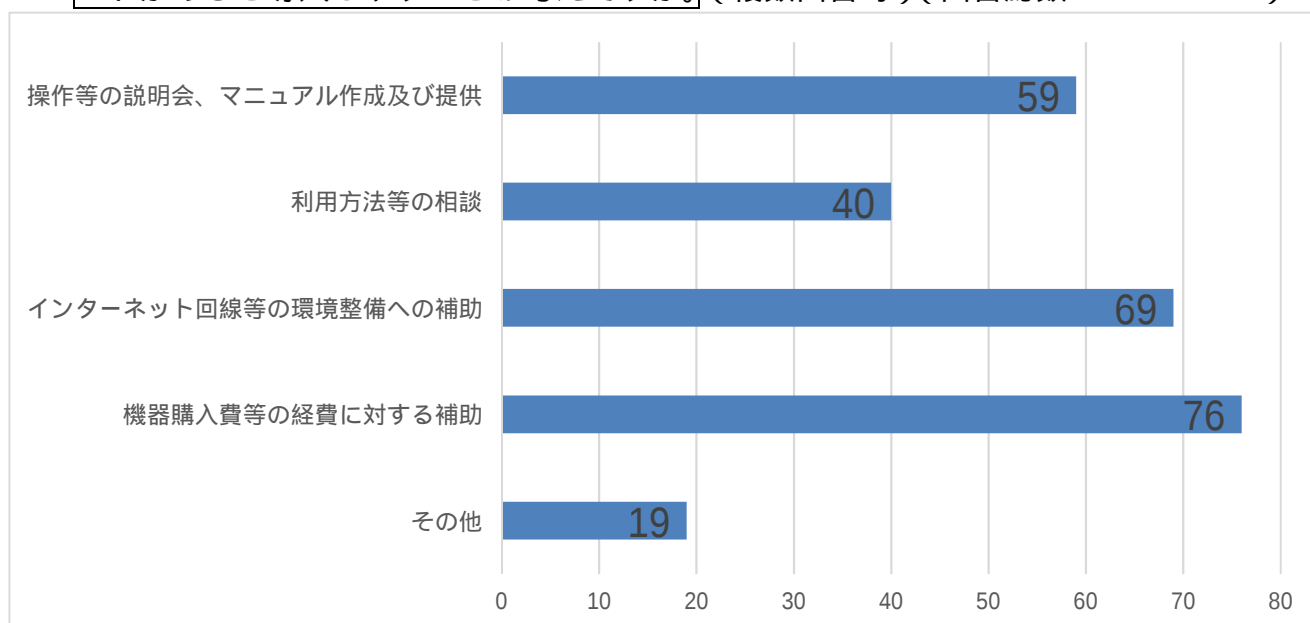
(複数回答可)(回答総数 n = 2 4 7)

問 1 7 で、あまり活用していない、まったく活用していない、わからないと答えた方



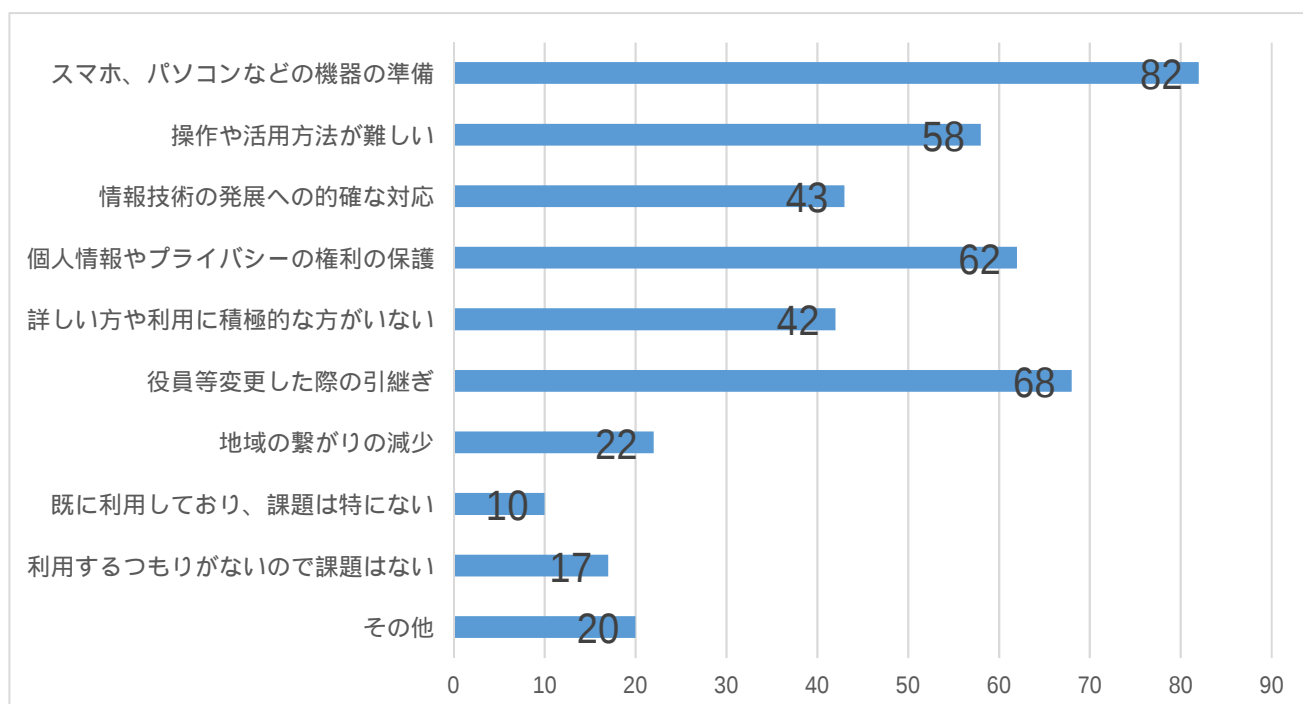
その他、「不自由を感じていない。自治会員同志の生の交流が大事だと思う。効率向上の事業ではないと思う。できるだけ最低のレベルに合わせることが大事だと思う」、「メールをすぐに確認しない人もいる」、「会員数が少ない」、「高齢化率等を考慮すると現実的ではない」、「ホームページの運用方法や管理方法など懸念される問題点が多い」、「自治会として、会館のWi-Fi設備、タブレット、スマホ等の所有はしていない。年度の役員の個人の所有のＩＣＴに頼るだけ。私個人としては自治会として何台かＩＣＴを準備して年度役員個人所有の物との連携からスタートとすべき、何もしないと始まらない」、「オンラインでの打ち合せは実施しているが、その他の活用については今後検討する」、「役員が、高齢者が半数以上であり、パソコン等を使える役員が少ない。ＩＣＴを使える若い世代が役員であれば自治会予算でＩＣＴ関係を購入するなどして活用することも可能と思う」

問 2 0 メールやアプリ、SNS、電子回覧などICTの活用において、どのようなサポートがあると導入しやすいとお考えですか。(複数回答可)(回答総数 n = 263)



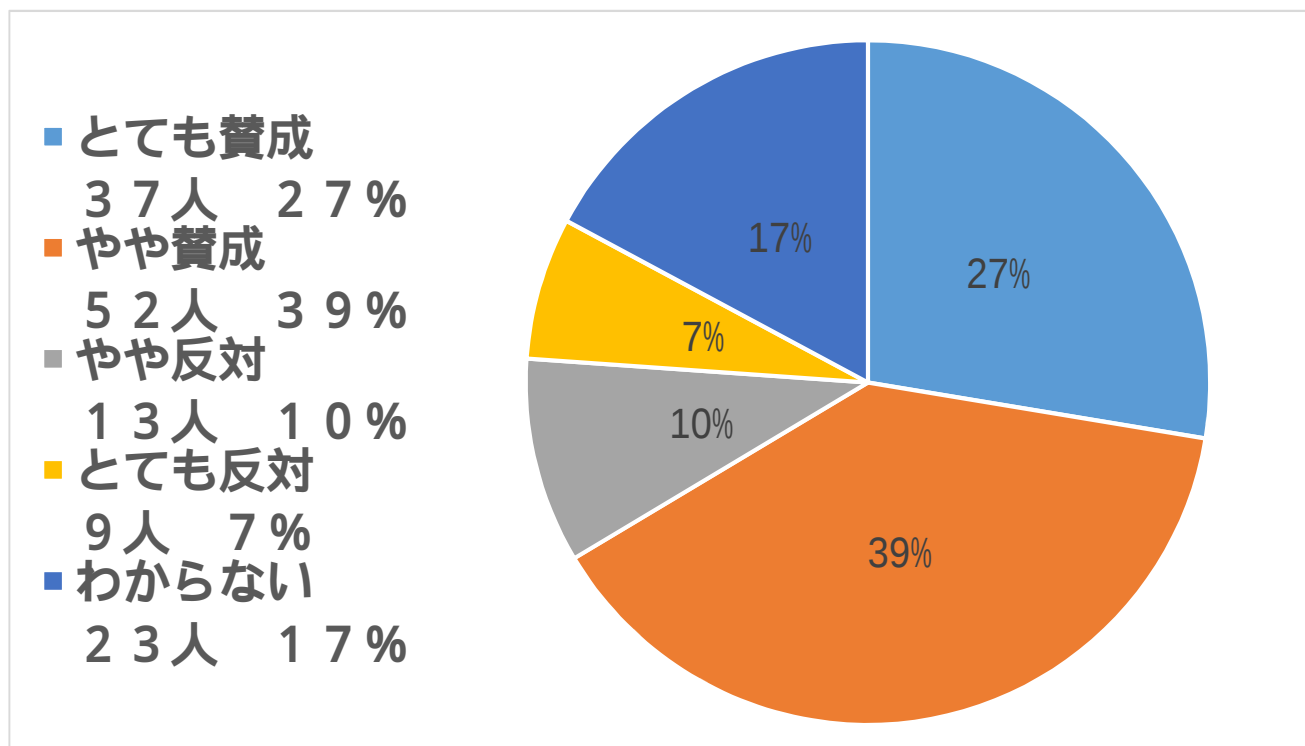
その他、「イメージ湧かない」、「役員が高齢のため、聞いてみないとわからない」、「特に活用拡大は考えていない」、「パソコン、スマホを所持していない及び高齢者等ICTに不慣れな人の対応が必要」、「自治会が自由に使えるインターネット上のドメインを市のホームページの一部に開放してほしい」、「自治会館内でインターネットが使える環境を整え、パワーポイントを使っでの説明会、ZOOMでの会議など、一式の機器とソフトを揃えるための補助が欲しい」、「モバイルWi-Fi機器、インターネット月額サービスなどのICT環境の構築と維持に関する補助を希望」、「導入ありきより、どんなセキュリティ準備が必要か先ず必要」、「個人情報や運営役員が管理するのは不可能、やるとすれば市が管理運営するサーバー提供が必要」、「自治会専用アプリ」

問 2 1 自治会がICTの活用を進める上で、どのような課題がありますか。(複数回答可)(回答総数 n = 424)



その他、「自治会が高齢化で一人暮らし多くなっているので、紙媒体の回覧物により、安否確認が出来るので回覧物を続けたい」、「情報弱者にレベルを合わせたい」、「電話番号やメルアドの登録も少ない」、「ＩＣＴ情報を信用せず、文書を絶対的なものとする人の説得が難しい」、「自治会独自のホームページの構築と維持」、「初期費用、ランニングコスト」、「体制が整っていない」、「自治会館の物理的安全性、ＩＣＴに関するセキュリティ確保、操作者、管理者、監督者のセキュリティ知識と担当者のなり手不足勘案導入すべきではない」、「トラブル発生時の相談窓口・担当者」、「ＩＣＴ機器の購入及びインターネット環境整備と継続経費が高いので補助金の整備が必要」、「会員間のＩＣＴ利用での個人情報取扱などネットにおける情報活用注意点の啓蒙」

問 2 2 自治会活動において、ＩＣＴ（ＳＮＳや電子回覧など）を積極的に活用していくことに賛成ですか、反対ですか。



その他、「ＩＣＴ活用はスマホかＰＣを全会員が持つようになるまでは無理、今の段階では「紙ベース」との併用となり二度手間となる」、「自治会内活動にはいいが、自治会全体の利用は無理だと思う。１年交代の中では難しい課題が多い」、「環境整備次第」、「災害対応や防犯での会員への迅速な情報伝達といった面で自治会のＩＣＴ活用は重要と思う。自治会館にフリーWi-Fiの整備をすれば、YouTubeなどでの学びサイトが活用でき、自治会館の利用促進につながる」

その他、自治会が抱えている課題等

各自治会から戴いたご意見を編集・抜粋して掲載しています。

《自治会運営》

- ◆ 年度の切り替わり時期などの会合時、市役所関係者が1, 2名参加し、役所関連から発言をしてもらう。
- ◆ 一旦役員を受けると後任を自分で見つけないと交代ができない。
- ◆ 役員のなり手が少なく、複数兼務しており会合において様々な意見を反映しにくい。
- ◆ 役員のなり手がいなく立候補がいないため、役員の候補を何名か決めて、その中で決まらない場合はクジで決めている。役員の持ち回り等にしたいと考えているため移行の方策を知りたい。
- ◆ 輪番制となっているが、高齢、仕事、介護など様々な事由で、次期の役員、班長の選任に苦慮している現状。
- ◆ 当自治会は毎年役員が替わる為、引継ぎにうまく対応出来ない。(対応マニュアルがあれば有難い)
- ◆ 自治会会長・役員や敬老会の活動を支える年代の不足(自治会の年齢層が同じ又は年代の差がありすぎる)
- ◆ 自治会に加入するメリットを全く感じていなく、役員になるくらいなら退会するとの考えがあり、今後自治会を離脱する会員が増加するのは明らかである。
- ◆ 同じ人が役員を何年もやり、その方も高齢化していくので自治会の活性化がなくなる可能性が大いにある。
- ◆ 現状の自治会運営は役員の負担が多大である。
- ◆ 毎年役員が変わるため、前年度からの自治会活動の継続がスムーズにいかない。
毎年変わるメリットとしては自治会活動への会員の理解を深めるということがあげられるが、毎回確認をしなければならないことが多く大変である。
- ◆ 高齢者が多く神社委員のなり手がいない。若い人はほとんど関心がない。仕事をしている人が多いので難しい状況。何か行政として協力できる事はないか、いい方法があればぜひご教授願う。
- ◆ 若い役員が行事を決めても高齢者による反対で実現できない場合が多い。(逆もしかり)
- ◆ 毎年会長を交代しているが、会長交代時の変更申請に大変苦労する。1回の変更申請を役所で共有してほしい。
- ◆ 働き盛りの世帯がほとんどの為、自治会の役員はかなりの負担感のために立候補者が少なく、世帯数が少ない為に役員になる確率が高い。対策として自治会費の免除として金銭的に負担を減らしましたが効果は今一つなので苦慮。小さな自治会を役所の指導でまとめて頂いても良いとの声も有る。
- ◆ 班長さんが高齢で回覧を回すのが精一杯。また、回覧の文字が小さくて見えない。
- ◆ 高齢化対応としての自治会役員の員数縮小とそれに伴う活動範囲の縮退(必要最小限度の活動に絞り込む)。出席行事の消滅(小・中学校行事、市行事、消防署行事)防災訓練の取り止め、パトロールの取り止め、市よりの各種連絡・通知の整理縮小の依頼をする。高齢化が進み、役員活動への負担感が急増の状況で、必要最小限度の活動を運営する体制へのシフトを引き続き検討していく必要がある。

- ◆ 若い人の退会が目立つ。
- ◆ 自治会費の値上げが出来ない。収入が苦しい
- ◆ 自治会からの脱退者問題・自治会活動をしたくないので脱退したい住民の解決方法。
- ◆ 自治会館を持たない自治会は、補助金申請の多くが対象外になるなど不利な点が多い。
こうした点に配慮をおねがいしたい。
- ◆ 自治会員の連絡手段が回覧・掲示板しかない。タイムラグが生じる。
- ◆ 連絡をメールにしたいが各自治会員はプライバシーの漏洩を気にしているため、損害賠償請求に向くことを危惧する。
- ◆ 会館建物老朽化により、維持管理費用が年々かかっている。
- ◆ 自治会館を持たないため、集会等は福社会館に依存している。備品を持つことが困難。
- ◆ 年々駅周辺にマンション・アパートが増加しているが、これからの住人は自治会に加入されておらず既住民とは没交渉。
- ◆ 高齢者は特に面倒なことに手を出したくない。若い方はどうしても仕事を優先して考え、普段の活動は不可能だと思う。結果、比較的に関心と行動力に余裕のある人ばかり負担を強いることになってしまう。
- ◆ 神社の維持管理に要する費用が高くなり、退会者が少々出ている。
- ◆ 未加入アパートがあり、ゴミ出しや祭りの協力等が得られないのが問題点となっている。
- ◆ 高齢化によるゴミ当番が課題。介護保険でヘルパーさんがいてもゴミ当番はお願いできないと思うし、小さな事ですすが週に3回はある事なので何か良い案があればと思う。
- ◆ 平時における高齢単身者あて、担当を定めて見守り活動を実施。隣近所の孤独死撲滅を目指すも、この4年間に残念ながら発生。(最近では、新聞定期購読なし、回覧物の回避、自宅引き籠り、日中明かりが消えない、不自然な戸締りなど) 近隣居住者も困惑している。よって、単身高齢者あて、自治会へ「身寄り連絡先届け」提出要請を検討すべき、過去に協力を要請するも、断られた由。上記高齢化対策の一環として、見守り活動を実施しているも、要支援者を見守る、見守り隊員の高齢化が進んでいる。
- ◆ アンケート項目にしても市民により添う姿勢が今一つ。高齢者が多くなっている今老人の多い自治会へのサポートシステムに欠けている。
- ◆ 高齢化に伴い、一人住まい地域の土地の公共事業で地域の住民が、減少し自治会の運営が大変になって来ている。自治会館を管理していくにも、人口減により自治会館の地代の負担が大変になって来ている。近くに福社会館等、自治会で集まる所が無く自治会館を維持していくしかない。自治会館の地代を自治会が負担した額を市で補助して頂けたら助かる。
- ◆ 今後はオンライン化により情報をより早く、より適切に各世帯に伝えること、そしてそれが一方的でなく、両方向的であることも重要である。特に新型コロナウイルスだけでなく将来流行する未知の感染症対策としても会議や集会のオンライン化は必要。現在は本自治会では設備上の問題もあるが、もし仮にそれが使えるようになったとしても各世帯からメールアドレスを報告してもらうことは不可能のように思える。
- ◆ 自治会はPC等の機器を所有していないので、福社会館にICTに関する機器利用制度があればありがたい。最終的には自前で機器を揃えるとしても、使い勝手や機器の有効利用が実感できれば、機器を揃える方向には理解が得られやすい。会議室を利用する際は、機器一式を同時に利用出来れば、ZOOM利用で3密を避け、欠席者へ中継が出来

たりもする。(例えば、有料でも構わないので、ネット環境が揃った会議室＋機器の貸出し制度があれば有難いと思う。)

- ◆ 電子回覧が普及すれば災害時にも利用ができ、また紙媒体の回覧板を手渡ししていく手間がなくなり便利だと思うが、すべての自治会員に普及させるのは相当大変だと思う。市としてモデルを示していただきたい。高齢者世帯が多く、一方現役世代は夫婦共に忙しく余裕がない状況で役員のなり手を確保するのが大変。役員選別に苦勞をしていない自治会があれば、アイデアを紹介して頂けると今後の参考になる。
- ◆ 1.自治会の入会率の固定化 2.各種活動に参加する会員の固定化と高齢化 3.事業の精選とマンネリからの脱却 4.リサイクル報奨金の減少 5.不合理な速度規制の不統一による交通上の安全問題 6.空き家の管理(越境樹木、雑草等) 7.ゴミ集積所の管理(ポイ捨て、無分別、カラスによる散乱) 8.自治会役員の後継者不足
- ◆ 地域住民の高齢化。核家族化(一人住い)。野良猫の増加。物流センター建設による交通量増加。信号機の設置。自治会館老朽化。

《自治会のあり方について》

- ◆ 自治会の世帯数はどの位がいいのか、総会は班長以上の代議員制と規約で定めているが、それでも130名以上となっている。大きい方の会館を利用しているが、それでもいっぱいになってしまう。
- ◆ 会員数が多いため、自治会分割方法を知りたい。
- ◆ 組織の在り方の検討を現在進めているが、他のマンションの自治会の現状を知りたい。防災備蓄品等検討する際など、情報共有できる場があると助かる。町会などの自治会とマンションの自治会は活動内容も異なるので、流山マンション自治会長のような組織の検討をお願いする。
- ◆ マンション自治会においては、ごみ収集を管理組合が行う等、災害時を除けば自治会に加入する必要不可欠な理由を感じてもらいにくい。しかし、災害時には自治会が行政との窓口となることから、できるだけ多く加入してもらうことが望ましい。市からの自治会に対する補助を増額して頂く事により、自治会員の費用負担を抑えられれば加入促進につながる可能性があり、補助の増額を期待します。マンションの多いおおたかの森地区は、自治会が設立されているところが少なく、災害時の避難物資受取等に大きな懸念をしている。市としても自治会のメリットを発信し、マンション管理組合に対して自治会設立を積極的に働きかけ、なおかつ新規設立に際して適切に援助をする必要があるのではないか。
- ◆ 自治会規模がどのくらいが効率的なのか、自治会の合併なども視野に入れるべきか、ICTの活用も若い世代との連携必要等、市の積極的関与をお願いしたい。
- ◆ 管理会社が新規契約者に対して積極的に自治会入会を勧めてくれないため、会費を義務化、理解させるのに苦勞する。
- ◆ 個人情報の関係で近隣に誰が引っ越して来たかもわからない。
- ◆ 個々単位の自治会では居住者に自治会加入の意義やメリットを打ち出していく施策を考えていくには時間的、人的要因で限りがある。
- ◆ 行政では「他の自治会ではこのように取り組んでいるので参考に」などといわれているが、地域によって文化・人種も異なっており、そのまま参考にできるものではない。
- ◆ 市役所ホームページに自治会配布行政文書を掲載する案もあるが、自治会に入会する

理由が減少する可能性有り。

- ◆ 行政から自治会に加入するのとししないのとでの明らかなデメリットを打ち出してほしい。
- ◆ 高齢化しており年金生活者が多いために新聞を取らない家庭が増えて広報ながれやまを見ていない世帯があり、必要な情報が伝わっていない。
- ◆ 仮に自治会に加入しなくても、実際に生活する上で大きな支障をきたさないため、そのメリットを深く理解していない。
- ◆ 当自治会エリアは随分前に当時のいきさつから分断されたようで、いわゆる「飛地」状態となっている。このため防災や防犯活動他日常の自治会活動で極めてやり辛い状況となっている。とはいえ元の形にということは住民感情その他色々なこともあり難しそうである。
- ◆ 集合住宅居住者の自治会加入について、回覧やイベント情報提供の負荷がかなり掛かっていて大変苦労している。昨今ではワンルームマンションやアパートが急増して対応に苦慮している。集合住宅居住者に必要な情報発信は市のどの部局が担当し、どの様に発信するのかを知りたい。例えば市はゴミ袋有料化に踏み出しているが、(この事に関しては大賛成) 集合住宅にはどの様に伝えているのか。ステーションを共有している所もあり、必ず問題になるのが目にみえている。
- ◆ 新入会者との年齢差が大きすぎて事業に参加しにくい。

《ごみ関連》

- ◆ 家庭ごみ集積所及びリサイクルステーション看板表示が不鮮明。
- ◆ 運河駅近くのゴミステーションのゴミ不法投棄。
- ◆ 流山インターチェンジ北部物流センターで働く外国人労働者がゴミの分別がされず、回収されない。
- ◆ ゴミ集積場(カラスよけネット半分以上)において、「前日ゴミ出し禁止」と「ゴミ集積場は〇班が管理清掃を行っています」の看板(A3ラミネート付き設置)でゴミの分別が比較的良好である。パトロールも実施して、分別の出来ないゴミは「ルール違反」の張り紙を独自にやっている。
- ◆ ごみ集積所に有料回収物(粗大ごみや洗濯機など)が放置されてしまう、回収されずにそのまま数週間放置されてしまい、対応に苦慮している。回覧板などで注意喚起をしているが、おそらく他の地域から夜間運んできて放置していると思われるが、張り紙などの対応をしても効果がなく対応に困っている。
- ◆ 一人世帯のゴミ出しができない世帯が増えている。
- ◆ 見守り支援について、高齢者で見守り希望されている方々の中でゴミ出しに苦労されている方が見受けられる。自治会役員として、ゴミ出し支援までは負担が大きく、住民の方々の安心、安全、快適に向けての活動の範囲を超えていると考える。見守り対象者の中で、ゴミ出し(日々)支援希望者への支援策があれば喜ばれる。(例)週1回程度、日時(曜日)を決めて、又は電話確認してゴミ回収に戸別訪問する支援体制をつくって提供する。(有料サービスでも可)
- ◆ 高齢者や身体の不自由な方への買物支援サービスを自治会役員の自家用車でやっているが、支援者も高齢化しており、今後買物に支障を来たす方が増えてくることが心配。
- ◆ 物流センターができ、道路の両サイドの道端がゴミの不法投棄が増えて困っている。

(レジ袋・空缶・ペットボトル・粗大ゴミ等)

《防災》

- ◆ 災害避難時に支援を希望する方の調査を、本年も1月に実施中。
- ◆ 防犯や防災などに関する決め事や避難訓練とか関心の低い事にどう対処していけばいいのか課題。
- ◆ 防災倉庫も保有したいと思っているが「公園は子供のもの」との回答が過去にあり、継続してお願いをしている。しかし他自治会では設置している会もあるので、不公平感が否めない。
- ◆ 防災行政無線が聞こえない。

《空き家》

- ◆ 自宅を所有している高齢者が老人ホームや子供宅に転居して空き家になってしまう世帯が増えてきた。その結果、垣根などの手入れがそのままで近所迷惑、庭は雑草が伸び放題枯葉もそのままで自治会としてどうすればいいか。
- ◆ 空き家が多い。

《環境》

- ◆ 運河駅東口路上喫煙、吸い殻ポイ捨て問題。
- ◆ 道路上や側溝にたばこの吸い殻やゴミ(マスクやティッシュ等)が捨てられている。路上喫煙やポイ捨てなどモラルのない人が多い。

《道路》

- ◆ 駐車場を横断し右左折している。また、速度が危険なほど早い。
- ◆ 物流センターができ交通量が増大し農道まで車の通行が多くなって来ている。それに伴い道路の痛みも激しくなって来た。道路の修正を早目にしてほしい。
- ◆ 物流倉庫を出入りする大型車の通行が多く近隣住宅が揺れるとの苦情あり。